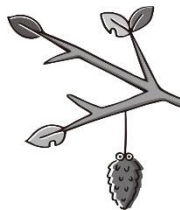


ほけんだより

令和4年11月発行 (No.4)



色とりどりの落ち葉、どんぐり、まつぼっくりなど、子どもたちは自然と触れ合う中で秋の深まりを感じています。衣服をこまめに調節して、元気に日々の遊びを楽しめるようにしていきたいと思います。

感染症情報

三光保育園・幼稚園感染症情報

新型コロナウイルスを含む感染症の最新情報はHPやアプリ、掲示にてお知らせします。定期的にご確認ください。

インフルエンザや感染性胃腸炎など冬の感染症が増加する時期です。かかりつけ医と相談して、予防接種なども検討し、基本的な感染予防策を続けましょう。

体調が悪い場合は登園を控え、家庭で経過観察をし、登園に対しては医師の診断を受けましょう。

佐賀県 感染症の上位疾患(11/14~11/20)

※()内は佐賀中部保健所管内の疾患順位

1位: 感染性胃腸炎(感染性胃腸炎)

2位: ヘルパンギーナ(A群溶血性レンサ球菌咽頭炎)

3位: RSウイルス感染症(RSウイルス感染症、ヘルパンギーナ、突発性発疹)

【新型コロナウイルス感染症】マスク着用、こまめな手洗い、換気、密(密閉・密集・密接)を避けるなど、基本的な感染予防対策を徹底してください。

【ヘルパンギーナ】患者報告数は増加しています。鳥栖保健福祉事務所管内からの報告が多い状況です。タオルの共用を避け、手洗いの励行で感染予防に努めましょう。

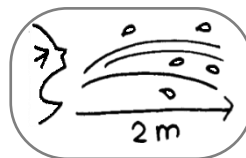
11/24付公開: 佐賀県感染症情報センターHPより

ウイルス、どうやってうつる?



ウイルスは、感染している人の唾液や鼻水の中に多く存在しており、せきやくしゃみ、会話の際のしぶき(飛沫)と共に飛び散ります。ウイルスが体内に入り込み、増殖した状態を「感染」と言います。

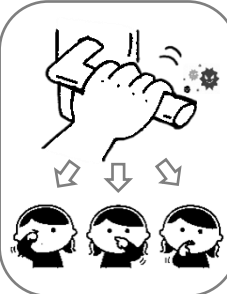
① ウイルスを含むしぶきを吸い込む



咳やくしゃみのしぶきは2~3メートルほど飛ぶので、近くの人がそれを吸い込んでしまいます。

② ウイルスがついた手で目や鼻・口を触る

ウイルスが付着したものに、手で触れるとウイルスが手につきます。手についただけでは感染しません。ウイルスがついた手で目や鼻口などを触ると、ウイルスが体内に侵入してしまいます。



手を洗ってウイルスを洗い流そう!

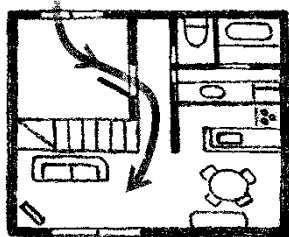
ウイルスが手についても、洗い流せば感染のリスクが下がります。手を洗うときはせっけんをしっかりと泡立てて指の間、指先までしっかりと洗い、水でよく流しましょう。

※手洗いについては次ページもご確認ください。

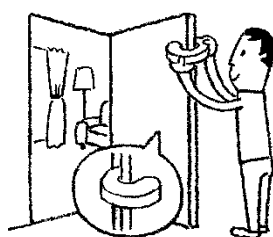


感染予防のために換気を! 暖房を使っているときは...

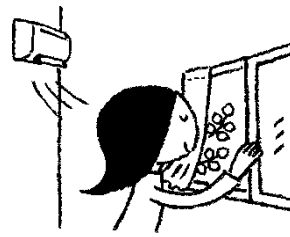
換気が億劫になりやすい季節です。最近の空気清浄機にはウイルス除去をうたったものもありますが、ウイルスを含む空気を入れ替えるためには、下記①~④を参考に有効な換気をしましょう。



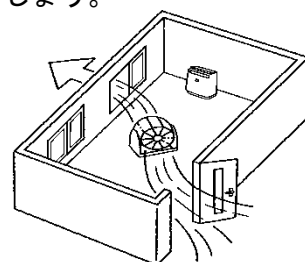
①別の部屋の窓を開けて、2段階換気をします。外気が廊下などを通る間に外気温と室温の差が少なくなります。



②暖房のついた部屋のドアを、ドアストッパーなどを使って少し開けておきます。



③暖房のついた部屋の窓を定期的に分けて、外の風を入れます。



④対角線上の窓を開け、サーキュレーターで空気を送り出したい方向に向けて使う方法もあります。

次ページにつづく↓

てあらい ちゃれんじ

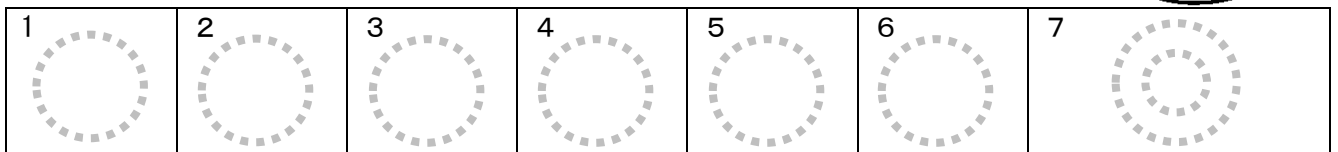
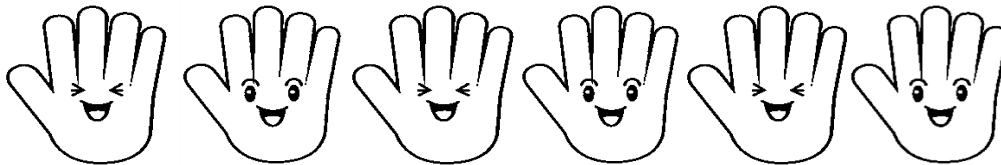


こんなときに、てをあらおう！

- ◎そとからかえってきたとき
- ◎といれにいったあと
- ◎ごはんやおやつをたべるまえ
- ◎そうじのあと



※うちの方へ
お子さんに声をかけて
いっしょに手洗いをし
ましょう。



てあらいができたひは、○をかこう

これからも
てあらい
つづけよう！

低年齢児の 手洗いについて

手洗いはとても大切な習慣ですが、生理的な欲求と直結していないため、身につけにくいといわれています。洗えるようになるまで見守っていきましょう。

0歳児 手をふいてもらう

離乳食が始まったら、「きれいにしようね」と声をかけながら、食事やミルクの前は必ず手をふきます。

1歳児 手を洗ってもらう

「ごはんだから手を洗おう」と声をかけて手洗いに誘います。大人がせっけんをつけていねいに洗い、ふいてあげましょう。



2歳児 自分で洗えるようになる

自分で水を出し、せっけんをつけて大まかに洗い、流し、ふくことができますが、きちんと洗うためには、見守りと声かけが必要です。



3歳児 しっかり洗える

「手を洗おう」と声をかければ、自分で正しい洗い方ができますが、洗った後のチェックは必要です。

これからの季節は乾燥や頻回な手洗いで手荒れしやすくなります。ハンドクリームなどで保湿ケアも忘れずに行いましょう。

